

9. 長寿命化のための事業実施予定一覧（R6～8は事業予定無し）

団地名・住棟	戸数	構造	建設年度	修繕・改善事業の内容								
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)		
駒見・松下・間之原	52	木造	S34 ～37		令和3年度以降は退去状況を鑑みて解体を実施予定							
吉田南・丘山	84	木造 簡平	S38 ～45									
長沼	A～N	140	中耐	S53 ～58	共用灯 LED							
寿崎東	A	20	中耐	S59								
	B	16	中耐	S60								
寿崎	A	12	中耐	H2		屋上防水・ 外壁・手摺・ 共用灯LED						
	B	12	中耐	H3			屋上防水・ 外壁・手摺・ 共用灯LED					
富士之越	A	15	中耐	H5					屋上防水 外壁			
	B	12	中耐	H6						屋上防水 外壁		
吉田北	A-1	12	中耐	H13								
	A-2	9	中耐	H14								
	B	18	中耐	H17								
	C	24	中耐	H19								

10. ライフサイクルコストとその縮減効果の算出

- ・国が定める「ライフサイクルコスト算定プログラム」により算定された方法について、ライフサイクルコスト（以下「LCC」という。）縮減効果を算出する。

<改善非実施LCC>

$$\text{計画前LCC} = (\text{建設費} + \text{修繕費A} + \text{除却費A}) \div \text{評価期間 (改善非実施) A (単位: 円/戸・年)}$$

<改善実施LCC>

$$\text{計画後LCC} = (\text{建設費} + \text{長寿命化型改善費} + \text{修繕費B} + \text{除却費B}) \div \text{評価期間 (改善実施) B (単位: 円/戸・年)}$$

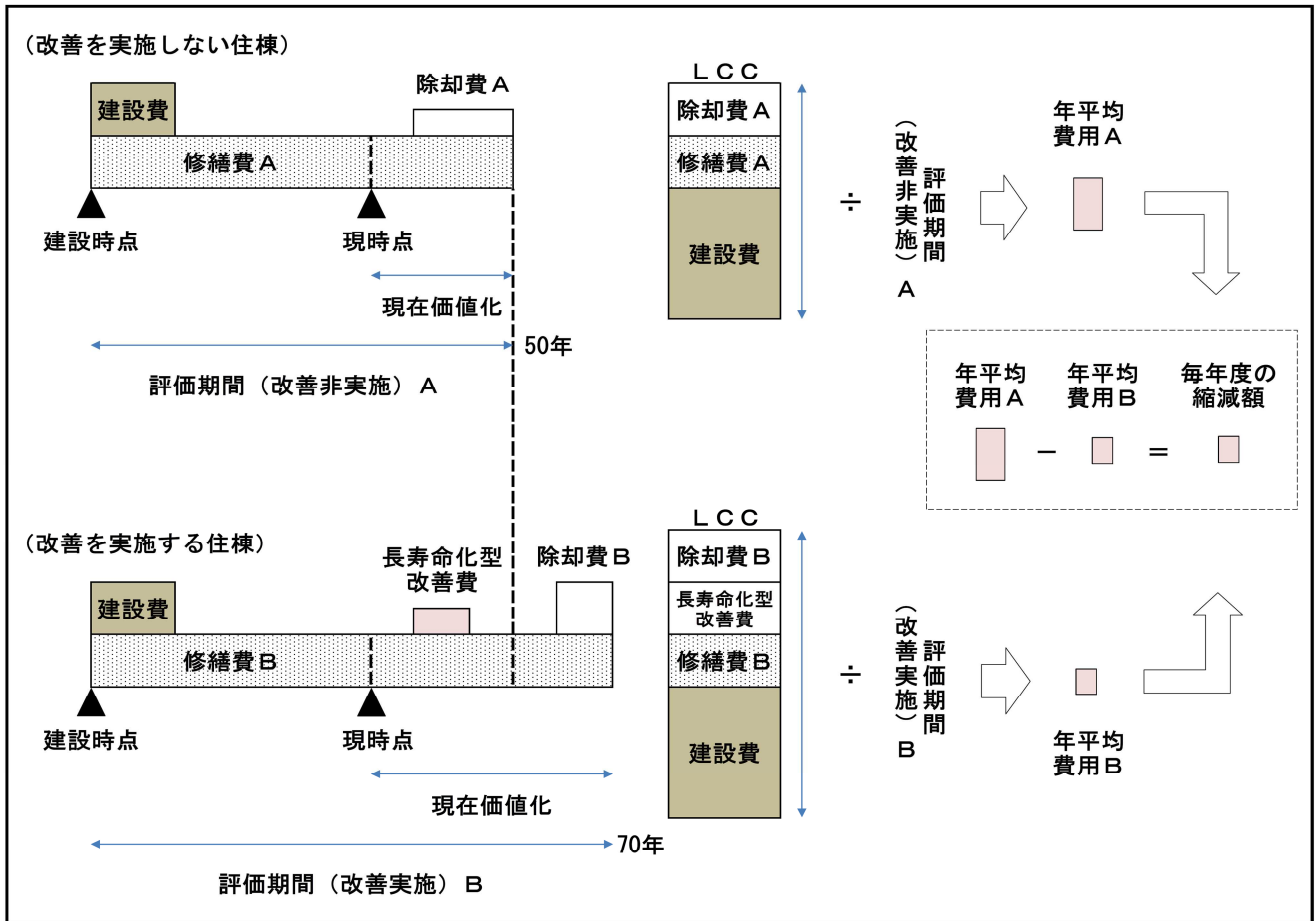
<年平均縮減額>

$$\text{「年平均縮減額} = \text{計画前LCC} - \text{計画後LCC} \text{」}$$

<住棟あたりの年平均縮減額>

以上より算出した年平均縮減額がプラスであれば、LCC縮減効果があると判断できる。

(1) ライフサイクルコスト (LCC) の算出イメージ



(2) 住棟別 LCC の縮減効果の算出結果

単位：千円

団地名	住棟番号	戸数	建設年度	未経過年数 ※1 ①	縮減効果 (年間) ②	累計縮減効果 ①×②	団地名	住棟番号	戸数	建設年度	未経過年数 ※1 ①	縮減効果 (年間) ②	累計縮減効果 ①×②
長沼	A	12	S53	28	1,120	31,360	長沼	M	8	S58	33	804	26,532
	B	12	S53	28	1,120	31,360		N	8	S58	33	804	26,532
	C	10	S54	29	888	25,752	寿崎東	A	20	S59	34	2,007	68,238
	D	12	S54	29	1,072	31,088		B	16	S60	35	1,610	56,350
	E	12	S55	30	1,078	32,340	寿崎	A	12	H2	40	1,001	40,040
	F	12	S55	30	1,078	32,340		B	12	H3	41	948	38,868
	G	8	S56	31	797	24,707	富士之越	A	15	H5	43	1,546	66,478
	H	8	S56	31	797	24,707		B	12	H7	45	1,309	58,905
	I	12	S56	31	1,178	36,518	吉田北	A-1	12	H13	51	1,400	71,400
	J	12	S57	32	1,174	37,568		A-2	9	H14	52	1,056	54,912
	K	10	S57	32	973	31,136		B	18	H17	55	1,819	100,045
	L	4	S58	33	418	13,794		C	24	H19	57	2,162	123,234
													1,084,204

※1 未経過年数 = 耐用年数70年 - 経過年数